



# たかおか

2022  
August  
NO.772

8

## 夏夜の祈りと大福市

2022年

8月12日 金・13日 土

午後6時30分～9時30分

国宝 瑞龍寺  
平穏無事へ願い一途に

同時開催  
第四回 国宝瑞龍寺  
『納涼盆栽展』  
(一社)日本盆栽協会 高岡支部

前売券(運営協力費)

**350円**

当日券500円  
中学生以下無料

●北日本新聞社 本社、西部本社、福渡支社  
●高岡駅前観光案内所  
●高岡市生涯学習センター  
●セブンイレブン(チケットぴあ Pコード993-823)  
●ローソン[ローソンチケット LコードF53403]  
●イオンモール高岡 ほかでお求めいただけます。

●お問い合わせ 北日本新聞社西部本社 事業部 TEL 0766-22-2226・高岡市観光協会 TEL 0766-20-1547

●主催 瑞龍寺夏の祈り実行委員会 ●共催 国宝瑞龍寺/国宝瑞龍寺保存会/高岡市下関校下連合自治会/北日本新聞社/富山テレビ放送/チューリップテレビ  
●後援 高岡南部地域活性化推進協議会/高岡市/高岡市観光協会/高岡商工会議所/高岡ケーブルネットワーク ●特別協力 イオンモール高岡  
●協力 あいの風とやま鉄道/北陸電力/上関町自治会/関本町自治会/寺町自治会/徳主町自治会/辰田自治会/荒川町自治会/赤江町自治会/赤土町自治会/八丁通町自治会/下関校下連合自治会/瑞龍寺自衛消防隊/下関校下交通安全協会/瑞龍寺・八丁通観光駐車場運営協議会/まちづくり会社・東広開発/高岡青年会連所/地域女性ネット高岡/高岡市ボランティア団体

## 通常議員総会

## 令和3年度 事業報告・収支決算が可決承認

7月22日に開催した議員総会において、令和3年度の事業報告ならびに収支決算が承認されました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が顕著となり、市民生活や企業活動をはじめ、各種イベント開催等に大きな制約を受けることとなりましたが、感染症対策に万全を期して、オンラインセミナー等の活用や相談会の開催頻度を高めるなど、相談の機会が失われないよう中小・小規模事業者への相談支援を行いました。

また、急速なデジタル化の進展やアフターコロナを見据えた事業展開、都市交通機能の充実、市街地再整備等変化する地域課題を解決するために、3年余り経過した「地域振興プラン」を改訂しました。更には、生産性向上や業務の効率化につながるDX・デジタル化を推進し、事務局組織にデジタル化推進室を設け、事務局及び会議等のデジタル化にも取り組みました。

なお、本席上にて11月の議員改選に向け、副会頭4名と常任委員長5名による会頭選考委員会を開催した結果、現会頭の塩谷雄一氏の再任が満場一致で決定した旨、委員長の山口副会頭より報告がありました。

高岡商工会議所は、地域の事業者から支持され、頼られる経済団体として、これからも地域経済活性化に貢献できるよう一層努めて参りますので、会員の皆様の更なるご支援、ご協力をお願いいたします。

## 令和3年度 事業報告の概要

1. 高岡商工会議所「地域振興プラン」の改訂  
(5戦略[15推進方法]⇒3戦略[12推進方法])
2. 小規模事業者のデジタル化モデル支援  
(IT活用に取り組む事業者の専門家による指導)
3. 行政や関係機関・団体等との協定  
(地域の諸問題に積極的に取り組む)

## 戦略1 「交流人口の拡大による地域経済の活性化」

## 推進方法1-1

## 「ニューノーマルにおける新しい観光スタイルの推進」

(1)飛越能の玄関として、新高岡駅を拠点とする広域観光連携の推進

○新幹線まちづくり推進高岡市民会議による利用促進事業

○北陸新幹線沿線都市物産展事業  
・「産業フェアin 信州」(長野市)に出展

(2)観光需要回復を見据えインバウンド向け情報発信の充実

○「OIDEYO(おいでよ)高岡」HPの情報を更新

○雨晴海岸から望む立山連峰のブランド化事業

○高岡食のブランド化推進事業

・高岡のうまみとたくみ展(日本橋とやま館)

○高岡旧町名復活推進事業

・旧町名パネル展(御旅屋セリオ5階)



雨晴海岸カレンダー

オリジナルのカレンダーを作成



高岡のうまみとたくみ展

日時：令和3年3月14日～20日

場所：日本橋とやま館

内容：昆布商品や伝統工芸品の展示即売会

## 推進方法1-2

## 「藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり」

○藤子・F・不二雄先生のふるさと高岡GO!GO!スタンプラリー 2021及び読書クイズ事業



スマホdeスタンプラリー

## 推進方法 1-3

### 「歴史文化遺産の活用・産業体験観光による産業の活性化」

- 勝興寺周辺活性化事業  
(勝興寺を活かしたまちづくり事業を実施)
- ふるさと偉人連携事業  
(高峰譲吉博士フォーラムの開催)
- 高岡古城公園遊覧船運航事業  
(利長号・利常号の2隻)
- 産業体験観光の推進  
(富山県産業観光図鑑2021年改訂版)の発行



勝興寺保存修理事業  
竣工式  
(令和3年4月11日)



高峰譲吉博士 フォーラム  
(令和3年11月27日)



遊覧船の運航

## 推進方法 1-4 「MICE 招聘機能の充実」

- 北陸新幹線高岡駅利用促進事業  
・旅行会社招聘活動による高岡等を巡る旅行商品の造成

## 戦略 2 「DX推進を柱とする企業競争力の強化」

### 推進方法 2-1 「DX推進による経営力の強化」

- デジタル化推進による生産性の向上支援
- 小規模事業者のDX支援を強化

### 推進方法 2-2

#### 「伴走型支援による小規模事業者の経営強化」

- 創業者支援・事業承継の相談支援
- 業態転換等に取り組む事業者の需要開拓への支援
- 中小企業施策・各種補助金支援、専門家派遣等による伴走型支援
- プレスリリースを活用した新たな需要開拓支援
- 商取引支援サイト「ザ・ビジネスモール」の登録(45社)
- ビジネスドラフトへの参加(43社)
- BCP(事業継続力強化計画等)の策定支援

- 高岡プレミアム商品券の発行  
(発行総額：120,000千円)



たかおかプレミアム商品券

## 推進方法 2-3

### 「クリエイター連携による工芸都市高岡の産地継承」

- 富山大学芸術文化学部学生(クリエイ党)と地元企業との連携による商品開発の支援
- 文化財等修復拠点化事業の事業化支援
- 工芸都市高岡2021 クラフトコンペの開催  
(御旅屋セリオ2階)



クラフトコンペ(令和3年10月22日～24日)



クリエイ党作品  
「常識にとらわれない幅広い発想」と「確かなものづくりの技術」の融合

## 推進方法 2-4

### 「呉西圏域連携による次世代産業の創出」

- 産学官等交流連携事業  
(富山大学及び富山県立大学との連携)
- 空き工場等有効活用事業(掲載件数：301物件)
- 富山大学先進アルミニウム国際研究センターの誘致

## 戦略 3 「働きやすい魅力ある都市づくりの推進」

### 推進方法 3-1

#### 「働き方改革の推進及び健康経営の普及」

- テレワークやリモートワーク等、新しい働き方の実現に対し企業支援を強化
- 経営者・従業員の意識改革の推進
- 健康企業宣言の普及促進(163社)
- 移住・UIJターンの強化(就業機会と新居住空間の提供)  
・移住マッチングサイト「SMOUTO」を活用した情報発信  
・UIJターン就職オンライン交流会  
・企業見学バスツアーの開催



オンラインによる働き方改革セミナー

### 推進方法3-2「都市交通機能の充実」

- 城端線・氷見線のLRT化・直通化及び万葉線との一体化の研究・推進
- 北陸新幹線敦賀延伸に向け、新高岡駅の利用促進活動の実施及びかがやき停車の働きかけ

### 推進方法3-3

#### 「市街地再構築及び新高岡駅周辺のまちづくりの推進」

- (1)ローカル5Gやスポーツ施設等先進的なハード・技術投資を活用する魅力向上
- まちづくり(中心市街地活性化)事業への支援
- eスポーツ拠点(御旅屋セリオ内)運営支援事業
- たかおかまちのゼミナール事業(33店舗)
- まちなか賑わい創出事業(オタヤ子ども広場事業)
- リノベーション物件の情報収集、起業相談による支援



eスポーツ大会



たかおかまちのゼミナール(令和3年9月11日～10月10日)

#### リノベーション物件「サカサカ」

高岡市坂下町の長屋をリノベーションした総合施設。コンセプトは、新しいつながりや町の賑わいを創出する憩いの場。



日本海高岡なべ祭り(令和4年1月15日・16日)

### 推進方法3-4「高岡商工会議所の体制強化」

#### (1)商工会議所及び会員企業におけるSDGsの取り組み推進

- 当所SDGsの策定と宣言申請による事業の推進
- 会員企業向けセミナー等の開催
- 事業計画策定等のSDGs取り組み支援
- 事務局のデジタル化の推進
- ・グループウェアの導入と共有サーバーのクラウド化
- ・パソコンの無線化と会議用タブレットの導入

#### (2)商工会議所事業の強化

- 高岡商工会議所地域振興プランの改訂
- 会員大会、会員企業PR事業、集合健康診断事業等の会員サービス事業の充実
- ・高岡商工会議所 2021 表彰式(従来の会員大会)
- ・新春高岡経済懇談会
- ・集合健康診断事業



2021 会員大会



新春高岡経済懇談会

#### ○調査・広報活動

- ・会報誌「たかおか」の発行(年12回)
- ・FAX情報、経営支援情報メールマガジン
- LINE情報配信サービスの発信
- ケーブルテレビ・ラジオたかおかのニュース番組の放送

#### ○各種関連団体との連携

- ・サイバー犯罪の共同対処に関する協定(高岡警察署)
- ・地方創生SDGs推進に関する連携協定(高岡市、東京海上日動火災保険(株))
- ・高岡法科大学と高岡商工会議所との包括連携に関する協定



高岡法科大学との包括連携協定

#### 『提言要望等意見活動』

- (1)高岡市及び高岡市議会への提案要望
- (2)富山県への提案要望(富山県商工会議所連合会)
- (3)日本商工会議所への要望
- (4)国、JR等関係機関への要望

# PHOTO LIBRARY



7.5

## SDGsロゴ募集記者発表

活動の輪を広げるオリジナルデザイン案を募集

高岡市、東京海上日動火災保険㈱、当所等9企業・団体が構成する「たかおかSDGsサポーター」では、持続可能なまちづくりへの取り組みを加速すべく、高岡ならではのロゴマークをつくることを決め、デザイン案の募集を開始した。ロゴマークは地域特性が分かるもの、取り組む人を後押しできる等を条件とし、9月30日まで案を募り、12月に結果発表を行う。採用されたロゴマークは目標達成に向けたシンボルとして、HPや名刺等での活用を見込んでいる。



7.6

## 高岡商工会議所寄付講座 「高岡学」オープン講座

第5回 講座開講

高岡商工会議所では高岡法科大学と教育・研究の推進並びに地域経済の発展及び地域社会の活性化を図ることを目的として包括連携協定を結んでおり、その一環として今年度高岡法科大学にて寄付講座を行っている。そのうちの5回をオープン講座としており、7月6日は富山新聞編集委員の宮本南吉氏が「県西部を繋ぐ公共交通システム」をテーマに城端線・氷見線のLRT化など公共交通と県西部の共通文化の関りについて講義を行い、学生の他一般聴講者も参加した。



7.7

## 近世高岡の 文化遺産を愛する会 総会を開催

令和4年度 事業計画が承認される

近世高岡の文化遺産を愛する会は、3年ぶりに総会を開催した。昨年度事業と収支決算報告が承認された他、今年度事業計画として講演会・視察会の実施などを決めた。菅野会長(当所副会頭)は「高岡の歴史文化遺産を世界の宝にできるよう活動を続けていきたい」と挨拶した。また、総会終了後は職藝学院の上野教授による講演会が開催された。高岡にある歴史的建造物の多さや魅力について説明を受け、参加者は高岡に眠る魅力について理解を深めた。



7.8

## 高岡商工会議所 常議員会を開催

令和3年度事業報告(案)、収支決算(案)、  
会頭選考委員会の設置等が承認される

高岡商工会議所常議員会が開催され、はじめに常議員2名、議員2名の異動について報告が行われた。その後、「令和3年度事業報告(案)、収支決算(案)」と「新入会員の承認」についてそれぞれ審議され、承認された。また、観光交流常任委員会の正副委員長と会頭選考委員会の設置についても審議され、承認された。

Pickup!



## 消費税インボイス制度対策講習会を開催

基礎知識、登録手順など大切なポイントを確認

令和5年10月から始まるインボイス制度について解説する講習会を開催した。税理士法人中村税務みらい経営 代表社員 所長の中村総一郎氏を講師に、インボイス制度の仕組みや対応の際の注意点等について説明し、受講した57社60名は理解を深めた。インボイスを発行しないと仕入税額控除ができなくなり、消費税負担の増加や取引の見直しといった可能性があることも解説し、そのような状況にならないようインボイス制度への理解と対応について呼び掛けた。



## 能越商工観光懇談会 総会を開催

感染拡大防止を徹底しながら広域的な連携を図る

富山県西部地域と石川県能登地域の商工会議所・商工会8団体で組織する能越商工観光懇談会の総会が羽咋市のコスモアイル羽咋で開かれ、40名が出席した。総会では令和3年度事業報告・収支決算報告ならびに9月に砺波市で3年ぶりに能越道フェスティバルを開催するなど今年度の事業計画・収支予算が承認された。重点要望事項は今後国や県、JRなどに提言する。総会後は妙成寺や昨年リニューアルした能登千里浜レストハウスを視察した。



## 富山県西部産業開発協議会 総会を開催

3年ぶりの総会で地方交通について考える

県西部地域の経済発展を図る富山県西部産業開発協議会総会を高岡商工ビルで行い、30名が出席した。総会では産業観光のネットワーク構築など広域観光の推進や観光土産品の開発など今年度の事業計画を決めた。協議会会長である当所塩谷雄一会頭は『県西部はひとつである』との考えに立ち、地域経済の活性化を進めていく必要がある』とあいさつした。総会後、富山大学都市デザイン部 都市・交通デザイン学科 金山洋一教授による『鉄道と都市の関係～城端線・氷見線への知見』と題した記念講演が行われた。

P H O T O  
L I B R A R Y